

## &lt;フィリピン・リサーチレポート&gt;

情報提供用資料

2020年12月17日

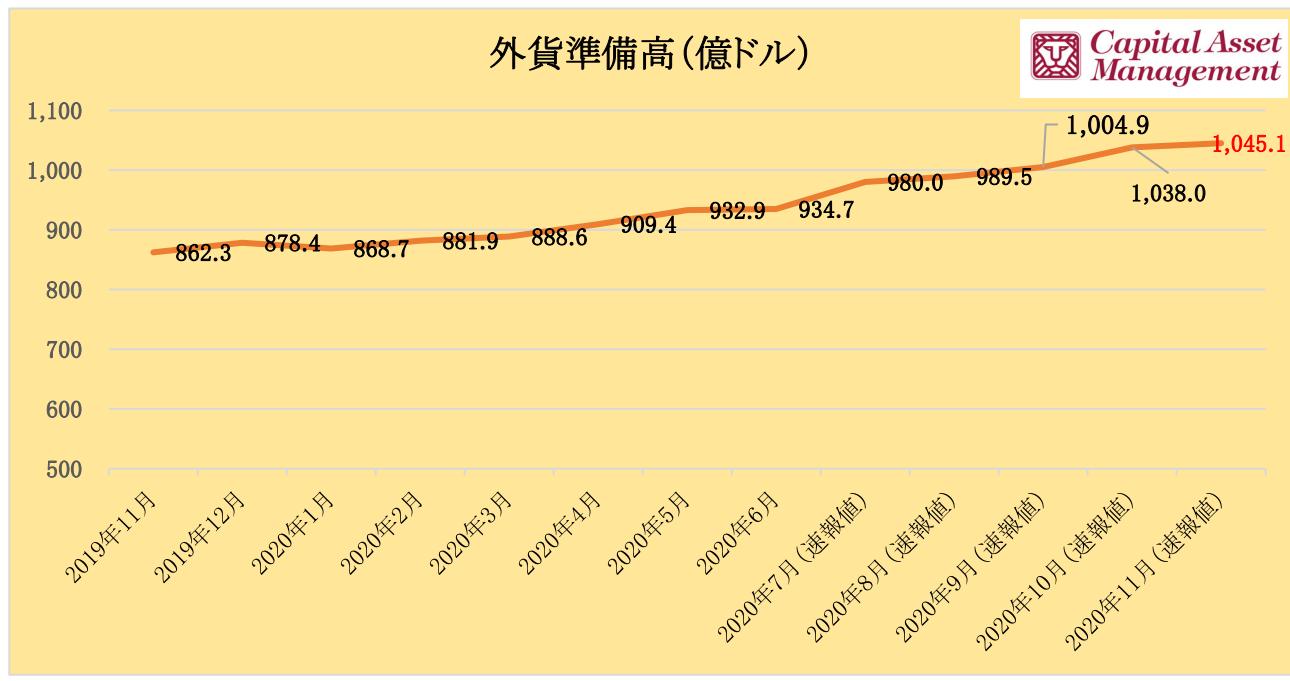
## フィリピンの11月末の外貨準備高

### 10カ月連続増で1,045億ドル

フィリピン中央銀行の発表によれば、外貨準備高(GIR、速報値)が2020年11月末時点で前月比+7.1億ドルの1,045億ドル(約10.8兆円)となった。10カ月連続の増加となり過去最高を更新。中銀の為替取引や海外投資による収益が増加の原因。

内訳を見ると、海外投資が891億米ドルと全体の約85%を占め最大。金保有額が107億ドル、外国為替が27億ドル、国際通貨基金(IMF)の特別引出権(SDR)が13億ドルなどと続く。

同国の外貨準備高は、モノ・サービス輸入などの11.2カ月分、短期対外債務(元本ベースの短期負債)の9.3倍に相当しており、十分な流動性を確保している。

<http://www.capital-am.co.jp>

以上